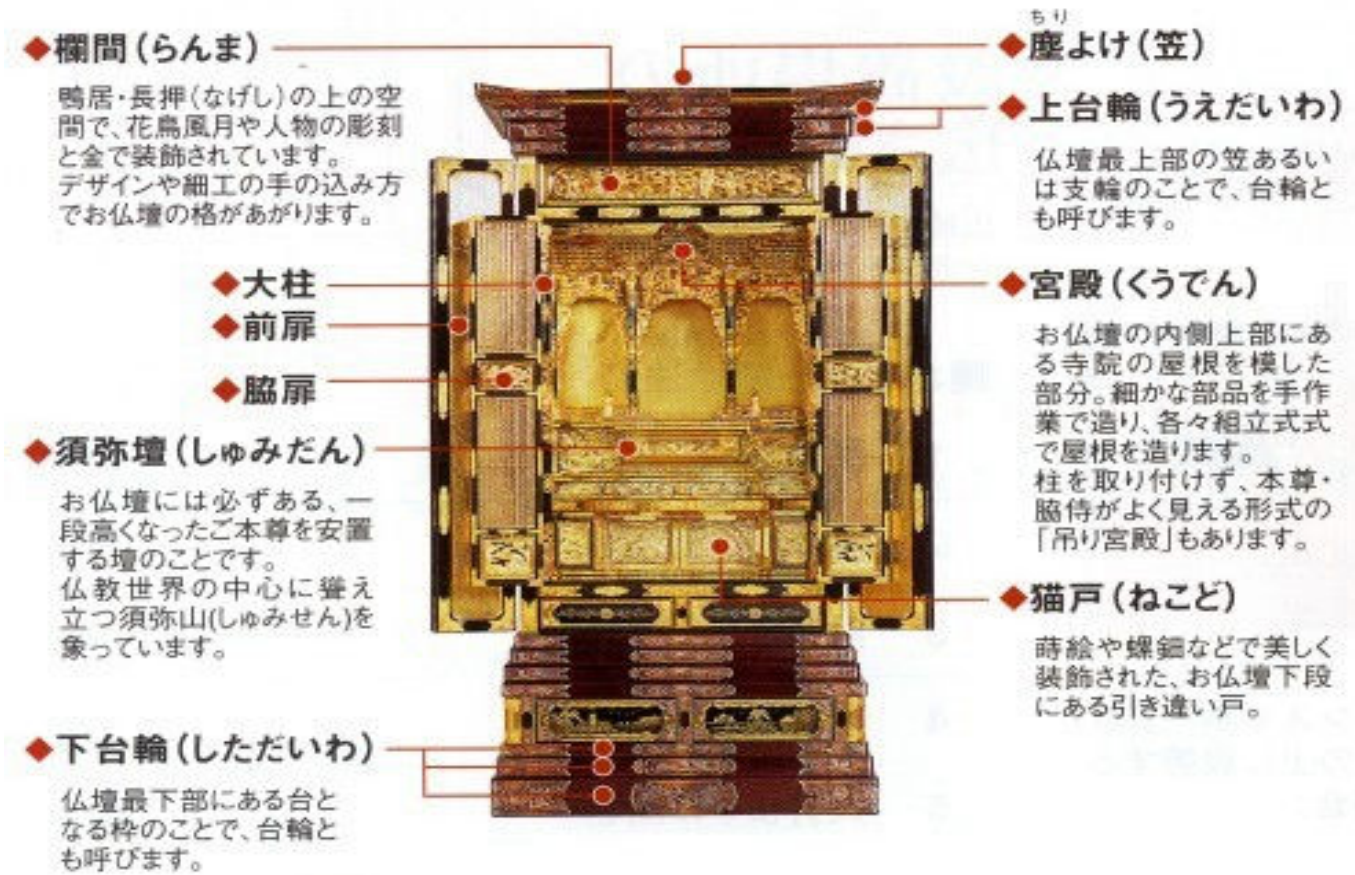


お仏壇・厨子・神道壇について

○お仏壇部位名称



須弥山(しゅみせん)の図(蓮華藏世界観)



東本願寺須弥壇

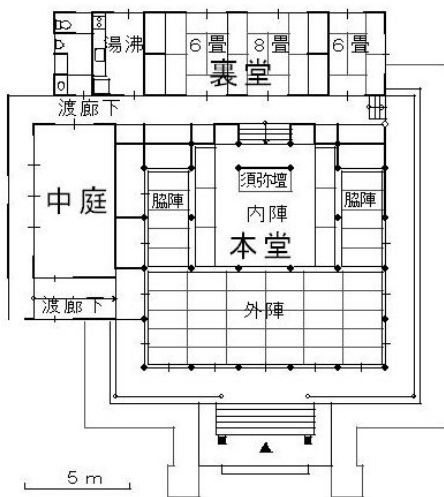
○寺院の構造



禅宗寺院（内陣例）



浄土宗寺院（内陣例）



- 1、内陣（ないじん）：お浄土
- 2、外陣（げじん）：大衆の居る場所
- 3、須弥壇（しゅみだん）：ご本尊の安置。
- 4、脇段（わきだん）：宗祖、開祖
- 5、欄間（らんま）：内陣と外陣の境界
- 6、雨戸（あまど）：前扉（障子の場合もあり）
- 7、裏堂（うらどう）：住職の待機場所
- 8、脇陣（わきじん）、余間（よま）：位牌壇

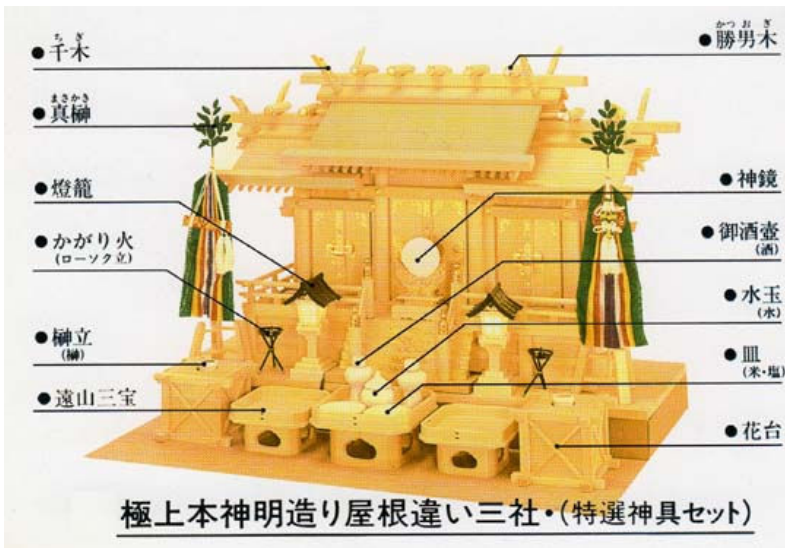
○お仏壇の必要条件

今までの説明から、お仏壇は仏教の各宗派の本山、あるいは菩提寺の内陣を在家に安置するための箱と解釈されます。そのためには宗派ごとにご本尊、宗祖、開祖、（3仏）を安置する場所が必要になります。またもう一つの機能は各在家の先祖をまつる為の物でもあります。そのために位牌やそれに代わる物（過去帳など）を安置する場所も必要になります。

- 1、扉（前扉、あまど、）
- 2、欄間（らんま）
- 3、須弥壇（しゅみだん）
- 4、最上段の3つの間（宮殿、子柱、で作る）：本尊、開祖、宗祖（3仏）
- 5、位牌壇（いはいだん）：位牌を安置する場所
- 6、障子（脇扉、巻き障子、）：浄土真宗に限る

○神道用神具

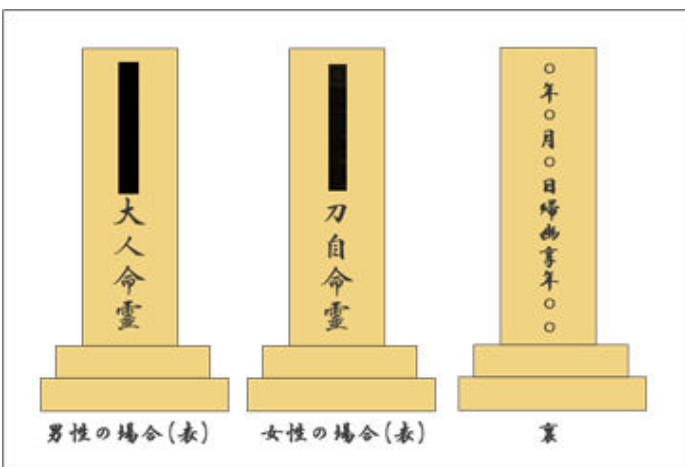
一般家庭用神棚（天照大神、氏神、その他）神棚は色々な型がありますが、基本は伊勢神宮です。その他出雲型、春日型、日吉型、その他。信仰する神社によって変わります。



神棚

御霊舎（みたまや）

○御霊代（みたましろ）と神道壇



御霊代の一例

神道壇幕板の例（米）

○神道壇

材質は基本的に桧。最近では白い木（栓、タモ、カエデ、等）であれば使用できます。塗装は無塗装が基本ですが汚れ防止のためウレタンを薄く塗ることも可能です。



【不動明王】

【大日如来】

【弘法大師】

【法然上人】

【舟立弥陀】

【善導大師】

【大黒天】

【曼荼羅】

【鬼子母神】

①真言宗 紺表装/金地
3560526-0-J0

②浄土宗 茶表装/金地
3560541-0-J0

③日蓮宗 紺表装/金地
3560566-0-J0



【常済大師】

【釈迦如来】

【承陽大師】

【蓮如上人】

【西立弥陀】

【親鸞聖人】

【九字名号】

【東立弥陀】

【十字名号】

④曹洞宗 紺表装/白地
3560176-0-J0

⑤浄土真宗本願寺派(西) 茶表装/白地
3560106-0-J0

⑥真宗大谷派(東) 紺表装/白地
3560116-0-J0



【花園法皇】

【釈迦如来】

【無相大師】

【興教大師】

【釈迦如来】

【弘法大師】

【伝教大師】

【阿弥陀如来】

【天台大師】

⑦臨済宗妙心寺派 紺表装/金地
3560286-0-J0

⑧真言宗智山派 茶表装/金地
3610611-0-J0

⑨天台宗 紺表装/金地
3560556-0-J0



【承陽大師】

【達磨大師】

【普賢菩薩】

【文殊菩薩】

【九字十字名号】

【親鸞聖人】

【三尊仏】

【十三仏】

【法名】

⑩禅宗 両脇 茶表装/金地
3560421-0-J0

⑪臨済宗 両脇 紺表装/金地
3610636-0-J0

⑫真宗高田派 両脇 紺表装/金地
3612002-0-J0

⑬三尊仏 茶表装/白地
3611782-0-J0

⑭十三仏 紺表装/白地
3560061-0-J0

⑮法名 紺表装
3560906-0-J0

○厨子の必要条件

神仏習合の日本の場合、当初仏教は権力者の物であり国をまとめるための神を祭る特殊な存在でした。この視点からみると、厨子は本来仏教に関わる仏像を安置するための箱であったはずですが。その後鎌倉時代後半に法然一派の浄土信仰が広がるにつれて仏教が大衆に浸透し、大乘仏教になるにつれて一般在家でも仏像を安置する習慣が定着し安価な厨子が作られるようになったと思われます。厨子のバリエーションが広がるにつれて仏像を入れて持ち歩くための物、先祖の記録を納めるための物、お骨を入れるための物（舍利塔など）、一般大衆の自由な発想が日本人らしく面白いところです。どんな人でも身近に置いて信仰の対象を入れる箱という観点から考えると厨子の内部はあの世、お浄土、（神聖な場所）と理解できます。

1、扉（前扉、あまど）

1、欄間（らんま）

2、須弥壇（しゅみだん）

